

古より受命の天王は恒山・泰山を尊んでその山頂に更に壇を作って高くして天を
祭り天に報じ、これを封といい、（また泰山下の小山である云云山・亭亭山に地を
払って地を祭り地に報じ、これを禪といった。いわゆる封禪である。）

嶽

がく

は

恒

こう

岱

たい

を

宗

そう

とし、

恒

岱

嶽

宗

蒸●

冬●